

決 済 動 向

— 平成5年11月 —

(平成6年1月14日)

1. 日本銀行における決済関連計数

11月の日銀当座預金受払（受払合計、1営業日平均）は、件数ベースでは3.1万件（前年比+1.0%）、金額ベースでも316.0兆円（前年比+5.7%）と、ともに前年比がプラスになった。金額ベースの内訳をみると、当座預金振替は、280.7兆円（前年比+6.7%）となったほか、民間の集中決済制度にかかる資金決済は28.4兆円（前年比+2.9%）となった。

11月の国債の決済件数・金額をみると、登録国債の移転登録（片道ベース、月中合計）は、件数ベースで3.9万件（前年比+44.7%）、金額ベースで110.4兆円（前年比+33.7%）となった。

また、日本銀行における振込国債の口座振替（片道ベース、月中合計）は、件数ベースでは3.6万件（前年比+7.8%）となった。金額ベースでは215.1兆円（前年比+24.2%）と、引き続き前年比増加基調にある。

11月の国庫金取扱高（受払合計、1営業日平均）は、件数ベースで49.7万件（前年比+6.4%）、金額ベースで4.5兆円（前年比+5.4%）となった。

11月の日本銀行における銀行券受払高（月中合計）は受入高6.7兆円（前年比+10.0%）、支払高6.7兆円（前年比+1.8%）となった。

2. 民間決済システム関連計数

民間決済システムにおける取扱金額・件数をみると、11月の手形交換高（東京手形交換所の交換高、片道ベース、1営業日平均）は、枚数ベースでは52.5万枚（前年比△6.4%）、金額ベースでは10.5兆円（前年比△7.6%）となった。

11月の全銀システム取扱高（片道ベース、1営業日平均）は、件数ベースでは351.2万件（前年比+3.8%）、金額ベースでは7.4兆円（前年比+4.6%）となった。

11月の外為円決済交換高（片道ベース、1営業日平均）は、件数ベースでも2.7万件（前年比+10.8%）、金額ベースでは24.7兆円（前年比+4.4%）とともに前年を上回った。

3. その他

11月の東京金融先物市場の取引数量（円短期金利先物、片道ベース、1営業日平均）は14.8万契約（前年比2.8倍）、月末の建玉数量は94.4万契約（前年比+79.5%）と引き続き前年を上回った。

11月のSWIFTの総送信件数（本邦分、月中合計）は、163.6万件（前年比+18.2%）となった。

(信用機構局)